簿記原理 II

科目ナンバリング　ACC-102
選択必修　　2単位

西山　一弘

1. 授業の概要（ねらい）
この授業では，簿記原理Ｉに引き続き，財務諸表作成のための記録・計算の手法を学習します。

2. 授業の到達目標
簿記に関する基礎的な知識を習得し，会計情報の形成過程を理解することを目標にしています。

3. 成績評価の方法および基準
次の基準で評価します。
1.講義中に行う小テストや出席状況：40%
2.定期試験：60%

4. 教科書・参考文献
教科書
新田忠誓他著　『エッセンス簿記会計（最新版）』　森山書店

5. 準備学修の内容
複式簿記の理解には，各自による事後の学習【復習】が不可欠です。
各回の授業後，教科書における練習問題を指定するので，問題を解いた上で，次の講義に臨むようにしてください。

6. その他履修上の注意事項
簿記原理Ｉを履修済みか同等以上の簿記の知識があることが望ましいです。
講義には電卓を持参してください。

7. 授業内容
【第1回】　ガイダンス：講義の進め方，成績評価の方法について説明します。
【第2回】　簿記原理Ｉの復習を中心に簿記の基礎を確認します。
【第3回】　現金預金取引と現金出納帳・当座預金出納帳の記帳について学習します。
【第4回】　商品売買取引と売上帳・仕入帳の記帳について学習します。
【第5回】　商品有高帳の作成方法について学習します。
【第6回】　売上原価の計算・記帳方法について学習します。
【第7回】　掛取引と売掛金元帳・買掛金元帳の記帳について学習します。
【第8回】　手形取引の記帳について学習します。
【第9回】　貸倒れの会計処理と貸倒引当金の計算・記帳について学習します。
【第10回】　有形固定資産の取得と減価償却の計算・記帳について学習します。
【第11回】　収益・費用の見越しと繰延の会計処理について学習します。
【第12回】　損益勘定（損益計算書）と残高勘定（貸借対照表）の作成について学習します。
【第13回】　8桁精算表の作成について学習します。
【第14回】　証憑と伝票制度について学習します。
【第15回】　まとめ：これまでの講義内容の復習をします。